

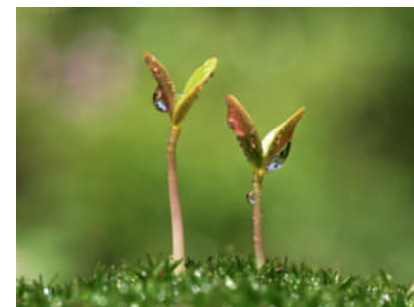
人むすびの場

第10回テーマ
“映画で人をむすぶ”

日時	平成21年4月24日(金) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのための、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供などもろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ「**映画で人をむすぶ**」
映像プロデューサー
株式会社ピース・インターナショナル 代表取締役
坂上 也寸志さん
- 19:40 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 金子 欽致さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了
交流会(うさぎ)

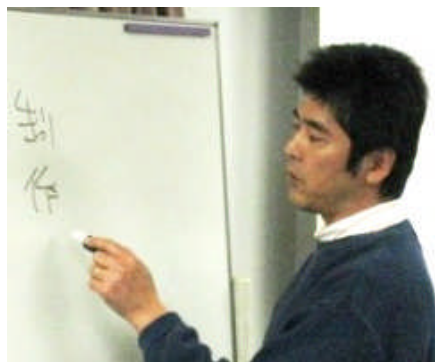
「映画で人をむすぶ」

ゲストスピーカー 坂上 也寸志さん

映画のメリットは、「人の心に一生残り続ける可能性がある」。時間をかけて作り上げるだけに「誇りと愛」が生まれます。



- 映像プロデュースには<企画・営業・製作・宣伝・回収>という5つの仕事の流れがあります。
- 2007年制作の「チェスト！」は、鹿児島を舞台に自治体や地域の人と向き合って、初めて映画をつくりました。
- 最初、「教育」がエンターテインメントになると考え脚本を書きました。先輩が後輩を育てる鹿児島独自の互助教育を扱っています。これが第8回エンジェル大賞を受賞。
- 鹿児島には一人も知人がなかった中で、地元企業を中心にした資金集めから始まって、地元の子どものオーディションをやり、キャスティングして、1ヶ月間子どもを預かり撮影しました。こうした中で、地域の父母と積み重ねていった信頼関係や地元で生んだ雇用などの成果が地域活性化の要因でした。
- 地域の方の心にあったのが、自らも動かなければ恥ずかしい、という「誇り」と離れて子どもを見守った「愛」。これが、地方での仕事でのキーワード！
- 地域映画の面白さがありながら、全国発信しきれなかったことなど興業的には課題の残った作品でした。しかし、この映画がきっかけに鹿児島では、フィルムコミッションが誕生し、次の企画が進んでいます。次回作は、ビジネス上の収益も狙える高校生を対象とした映画をつくりたい。



【略歴】（映像プロデューサー、株式会社ピース・インターナショナル 代表取締役）
鹿児島を舞台にした2007年制作の「チェスト！」でプロデュースおよび制作委員会幹事を務める。第8回エンジェル大賞を受賞（雑賀俊郎監督作品）。「チェスト！」は現地のロケや上映活動を通じて、地域の人々の気持ちが動いた「地域活性化映画」の成功モデルとして注目された。この映画をきっかけに鹿児島では、フィルムコミッションが誕生し、次の企画が進んでいる。

人むすびカフェ



人むすびカフェ

「映画の力とは何でしょうか？」

「映画の力をどのように活かしましょうか？」



本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・メディアとしてエンターテインメントをこえる映画の位置づけを考えさせられました。
- ・情報があふれている時代なのに、情報の範囲はものすごく狭い→自分が取りに行く映画なのに知らなかった事が残念。
- ・案外テーマと関係が薄くても話ができる。人の意見がいろいろあって面白い。映画を見たくなった。
- ・映画の力、特に魅力について改めて考えてみることになりました。映画でしかできないこと、強み、また、これからどんな作品に出会えるかがワクワクしています。
- ・関わる人の息づかいは、通じる
- ・映画を製作したときの計算されてない複次効果。
- ・自分が映画館に足を運んでいないことを気が付いた。
- ・自分は話を聞いて、感想を述べるに際し、網羅的かつ体系的に言ったと思ったが、皆さんの多様な視点に改めて感心しました。
- ・いろいろな方々の考えが大きなアイデアにつながる。
- ・愛と誇り→地域を元気にする
- ・鹿児島のおつさ
- ・“映画力” →人と人をむすぶ
- ・いろいろな立場の方を自由に聞ける場があるということを実感しました。
- ・自分の思考、知識の領域(ポジショニング)
- ・“互助教育”ということば？
- ・場に参加するスタンスが人によってだいぶ異なる。

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・“愛と誇り”。
- ・感動が人をひきつける
- ・教育エンターテイメント(by坂上也寸志さん)
- ・息づかいが誇り
- ・1から100までもうけでいい
- ・映画がもたらす感動って何だろう
- ・誇り
- ・感動(誇りと愛の他に)
- ・地方と地方をつなぐ→坂上さんに提案したい
- ・鹿児島
- ・長い時間をかけただけ、愛と誇りが生まれる
- ・地域同士の交流
- ・回収(映画配給)
- ・「互助教育」ということば→しかし残念ながらこのキーワードの持つ重さ質が分かっていない
(マスコミの責任もある)
- ・誇りと愛

本日の感想ー ③

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・話を聞く前に映画“チェスト！”をみておけばよかった。
- ・初めての参加であったが、考えをまとめて話をするいい機会に恵まれよかった。
- ・いつも素晴らしい場の提供と企画に感謝申し上げます。再会できた方、新しく お目にかかった方、出会いとつながりを感じられるこの場所がいつまでも続いていく事と心から祈念しております。第11回堤さんも期待して待ち遠しいです。
- ・最初の話、わかりやすくおもしろく、聴いててワクワクしました。そんな熱い空間が東京にもどんどん広がるといいなあ。
- ・いつもながら、結論を言わない(無責任?)ディスカッションは面白いと思いました。
- ・プロデューサーの仕事っておもしろそう。みんながプロデューサーの時代になってきた。
- ・「地域の活性化」を1カ所だけでなく、複数の地域にもたらすことも考えたい。
- ・テーマをもう少し工夫していただいた方が良かったのでは？
- ・時間のマネジメント具合(自他共に)
- ・“互助教育”というキーワードが、「チェスト！」の映画のメインテーマであることが、多くの人に伝わっていない→再生を期待しましょう！！
- ・ワールド・カフェのルールにうまくなじめず、やや消化不良。
- ・ふくろう方式はいいが、A氏→B氏→A氏→B氏のくりかえしがあり、A→B→Cというルールにして欲しい。

皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。